

2025年度 ニチイキッズこばり南保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～2月13日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月24日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの興味・関心に寄り添いながら日々の保育活動・行事の取り組みを工夫した。
子どもの発達援助	子どもの姿を捉えながら、保育計画を立案し実践ができた。 その時々の子どもの思いに寄り添い、子どもの興味・関心を広げられるようにした。発達段階を踏まえて、適切な援助ができるようにし、成長の見通しをもった柔軟な保育をしていきたい。
保護者に対する支援	連絡帳や送迎時を利用して、子どもの様子や成長を丁寧に伝え、自園の保育に対して安心感を持っていただけるように努めた。また、保育参観を行い保護者間の交流の場を設けることができた。
保育を支える組織的基盤	定期的な職員会議、園内研修を実施し、全職員で子どもの姿を共有しあった。また、社内・社外での研修に参加し、スキルアップを図った。マニュアルの読み合わせも行い、理解の上業務の効率化を目指した。今後も保育の質の向上を目指していきたい。

総評
子どもたちの様子に合わせ、いろいろな活動を取り入れながら保育を柔軟に行い、保育園全体で子どもたちの成長を見守ってきた。また研修等で学んだことをもとに、子どもの姿を察知し様々な視点から援助をしたり、見守ったりすることができた。次年度に向けては引き続き子どもの発達に合った援助と配慮ができるよう研修で学びあいたい。そして、保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を深めていきたい。